

フクシマから反原発大運動始まる！

10/10フクシマNAZEN結成集会



350人の結集で打ち抜く！

10月10日、フクシマNAZEN（すべての原発いまずぐなくそう！全国会議）結成集会が350人の結集で行われ、フクシマを先頭とした原発への怒りが大爆発しました！

私たちが行動すれば絶対に原発はなくせます！ 学生は今こそ原発廃炉・再稼働阻止に向け行動しよう！

10月21日に行われる全国学生集会に集まろう！

企画 学生は今こそ行動しよう！

福島から大学を問う10・21全国学生集会

日時 10月21日（金）昼

場所 福島大学キャンパス

福島大一年生の集会発言

みなさんこんにちは。福島大の一年生です。

福島大学はとんでもない所と手を結んでいます。日本原子力開発機構です。今回、原発の最も近くにある国立大学である福島大学が、原子力発電を推進しようとする組織と手を組んで、たった一度の事故で住民の暮らしを奪って、子どもたちの未来を奪って長い時間をかけて人を苦しめて、作業員を殺してしまうようなこんな原発を続けるためのいいわけを考えることに協力することなんてあってはならないことだと思います。これからそこで勉強していく一人として、自分の出た大学がそんな真っ黒な原子力発電の研究に加担しているなんて嫌です。

しかし一人の学生の私にはできることは少ないと感じます。そこで私は、NAZENの力を借りて大学の方針、原発再稼働を強行しようとする勢力と闘っていこうと思います。がんばりましょう！

全学連

全日本学生自治会総連合(斎藤郁真委員長)

TEL 050-3036-6464 mail_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp/

石田真弓君(東北大学学生自治会委員長・全学連副委員長)の集会発言

福島に皆さんに全学連を代表して訴えたいと思います。

私たち全学連は先日、全国の学生で大会を開きまして、やはり福島の現実に一緒に本気になって、心をひとつにして原発反対の闘いを私たち全学連の闘いの軸にすえてやっていこうということを確認しました。

本当に福島の皆さんとひとつになって全国の学生は人生をかけて立ち上がっていきたく、そういうふうに考えています。

改めてみなさんがおっしゃられているように、福島において、全国もそうですけど、今回の原発問題は私たちの生き死にかかった問題です。

そして繰り返すまでもないですけど、この原発問題は極めて、この大学の問題、あるいは学問や教育がどういう方向に向かっていくのか、そういう問題だという風に思っております。私たち全学連はこの数年間、震災の以前からある意味、大学の生き死に、こういうことをかけて、学生の存在をかけて、大学で、あるいは街頭で闘ってきました。

とりわけ、東京の法政大学ではこの5年間で118人の逮捕、こういうものを出しながら私たちは不屈に闘ってきました。なぜ学生が逮捕されたか。例えば、いま震災が起きて、原発を動かさなければ経済が崩壊する、こういう風に言われてますけど、これ以前から労働者の4割が非



正規じゃないと働けない。こういうような状況にあった。あるいはイラクで、あるいは朝鮮半島で戦争が起きている、起きようとしている。こういうことに対して、学生は声を上げようじゃないか。

こういうことを訴えるピラをまいていた。そのことが、国家が、あるいは大学が違法だとして、犯罪だとして私たちを弾圧していた。こういう現実があったわけです。例えば僕も、法大に行ってピラをまいてましたけど、彼らはまさに暴力をふるうガードマンを雇って、学生の首を絞めたり殴ったりだとかするわけですよね。こういうことは一切、違法だとも犯罪だともならない。

そういうことがありながら、しかしこんな現実私たちが団結した時に絶対に変えられるんだ、そういう思いで闘ってきました。そしてこの5年半、私たちは決して負けませんでした。人間の怒りは絶対に、暴力なんかで叩きつぶすことはできません。私たちが本当に団結して、この福島の現実を見据えたときに、やはり今のこの原発を維持する勢力、あるいは原発の被害を押し隠していく勢力、こういうものを本当にはねのけてこの現実を変えていくことはできる、そういう風に私は確信しています。9月19日、あの集会に参加した方もいると思うんですけど、この中に勝利の展望があると確信を深めました。私たちの思いとフクシマの思い。本当に生きていきたい、人間らしく生きていきたい、こういう思いは本当にひとつだろーと思います。そして何よりも、勝利する時代が来ました。私たち全学連は10月21日に福島現地、福島大・福島医大で抗議闘争をやりたいと思っています。学生が御用学者・山下とかを本当に問題にして、大学から追放していく、これこそ学問だと私は考えます。そして何よりも、勝利するために団結をもっと固めて、広げていく。そのためにも11月6日、労働者の皆さんも職場で頑張っていると思いますけど、ここに向けてこの一カ月全力で闘っていこうではありませんか。

皆さん是非、共に闘いましょう。

→次は11月6日(日)正午、日比谷野外音楽堂だ!

反原発×反失業! 全国労働者集会

すべての原発を停止・廃炉に!

新自由主義と闘う労働組合のネットワークを!

解雇撤回-非正規職撤廃!

呼びかけ 全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部 / 全国金属機械労働組合港合同 / 国鉄千葉動力車労働組合 http://www.geocities.jp/nov_rally/



写真: 9.19反原発デモでの学生の隊列